

目次

基本的な操作

文字板の表示

モードを切り替える

各モードの概略

りゅうずを使う

針と日付の動き方について

充電する(ソーラー充電)

自動で時刻を合わせる

前回の時刻合わせ方法を確認する

病院内、飛行機内で使うとき

時刻合わせ
(GPS、標準電波)

GPS 電波で時刻を合わせる

- 受信に適した場所
- 手動で位置情報を取得する
- 手動で時刻情報を受信する
- 自動で時刻情報を受信する
- うるう秒の受信について

標準電波で時刻を合わせる

- 受信に適した場所
- 標準電波の受信範囲
- 自動で標準電波を受信する

受信のご注意

スマートフォンと一緒に使う
(モバイルリンク機能)

準備する

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

時計の時刻を自動で合わせる

ワールドタイムを設定する

アラームを設定する

タイマーを設定する

針や日付の位置を補正する

時計の各種機能を設定する

訪れた場所を記録する (FLIGHT LOG)

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

時計の充電量を確認する

接続

- 時計とスマートフォンを接続する
- 時計とスマートフォンの接続を解除する
- ペアリングを解除する

■ スマートフォンを買い替えたとき

時刻合わせ(手動)

ホーム都市を設定する

時刻を 15 分単位で変更する

時刻や日付を設定する

ホーム都市を確認する

ワールドタイム

ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを 15 分単位で変更する

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

ワールドタイム都市を UTC(協定世界時)に設定する

ストップウォッチ

計測する

タイマー

時間を設定する

タイマーを使う

アラーム

アラームをセットする

アラームのオン/オフを切り替える

アラームを止める

ライト

ライトを点灯する

針や日付の補正

針や日付の位置を補正する

海外に渡航するときは

補足

都市一覧

サマータイム期間一覧

地図データベースについて

対応機種

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

困ったときは

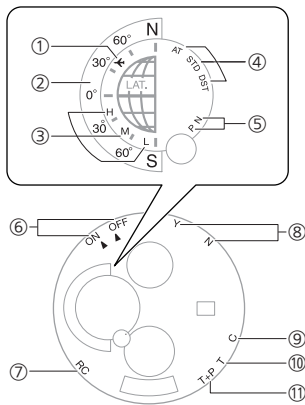
基本的な操作

時計の概要を説明します。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示

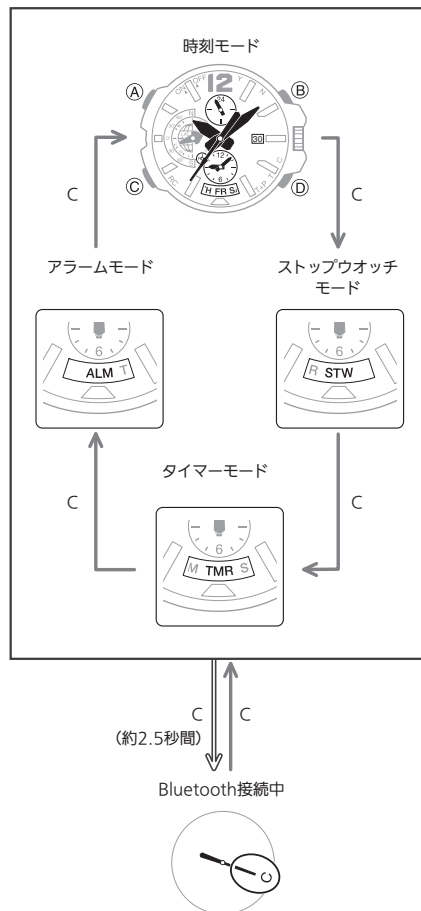


- 機内モードマーク**
機内モードのとき、モード針が ✈ を示します。
- 緯度**
ホーム都市またはワールドタイム都市の大まかな緯度を示します。
- バッテリー残量**
時刻モードのとき、モード針が充電量を示します。
- サマータイムの設定**
ホーム都市のサマータイムの設定をモード針が示します。
- 電波受信状況、位置情報の有無**
受信結果の確認時
前回の時刻合わせ時に受信(取得)した情報を、モード針が示します。
「P」:GPS 電波またはスマートフォンの時刻情報と位置情報
「N」:GPS 電波の時刻情報、または標準電波
ホーム都市またはワールドタイム都市の設定時
ホーム都市またはワールドタイム都市の情報の有無を、モード針が示します。
「P」:位置情報あり
「N」:位置情報なし
- アラームの設定**
アラームモードのとき、秒針がアラームの設定状況を示します。
「ON」:アラームオン
「OFF」:アラームオフ

- RC マーク**
標準電波を受信中に秒針が示します。
- 前回の受信結果**
秒針が前回の受信結果を示します。
「Y(YES)」:電波受信またはスマートフォンに接続して時刻を合わせた
「N(NO)」:電波受信またはスマートフォンとの接続による時刻合わせに失敗した
- C マーク**
スマートフォンと接続中に秒針が示します。
- T(Time)マーク**
GPS 電波(時刻情報)を受信中に秒針が示します。
- T+P マーク**
GPS 電波(位置情報)を受信中に秒針が示します。

モードを切り替える

この時計には、以下のモード(機能)があります。

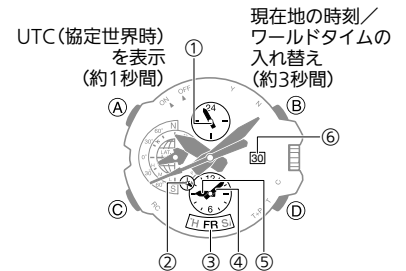


モードは、C ボタンで切り替えます。
C ボタンを約 1 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。
スマートフォンと接続するには、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。

各モードの概略

●時刻モード

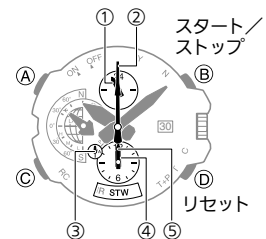
時針、分針、秒針が現在時刻を示します。
小時計、小分針がワールドタイムを示します。



- 現在地の時(24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ワールドタイム時(24 時間制)
針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。
- 現在地の曜日
- ワールドタイム分
- ワールドタイム時
- 現在地の日付

●ストップウォッチモード

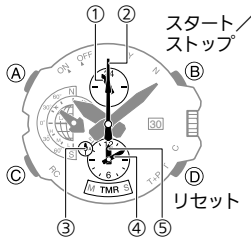
時針、分針が現在時刻を示します。
秒針、小分針、小時計がストップウォッチの計測値を示します。



- 現在地の時(24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ストップウォッチ秒
- ストップウォッチ時(24 時間制)
針が A 側のときは計測値が 0~12 時間、P 側のときは計測値が 12~24 時間を示します。
- ストップウォッチ時
- ストップウォッチ分

●タイマーモード

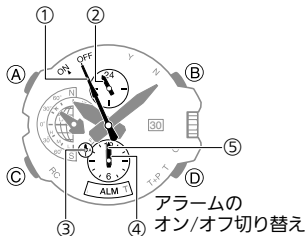
時針、分針が現在時刻を示します。
秒針、小分針、小時計がタイマーの計測値を示します。



- ① 現在地の時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ② タイマー秒
- ③ タイマー時 (24 時間制)
針が A 側のときは計測値が 0~12 時間、
P 側のときは計測値が 12~24 時間を示
します。
- ④ タイマー分
- ⑤ タイマー時

●アラームモード

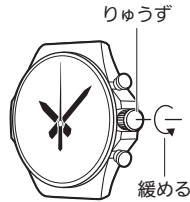
時針、分針が現在時刻を示します。
小分針、小時計がアラーム時刻を示します。
秒針がアラームのオン、オフを示します。



- ① アラームのオン/オフ
- ② 現在地の時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ③ アラーム時 (24 時間制)
針が A 側のときは午前、P 側のときは午
後を示します。
- ④ アラーム時
- ⑤ アラーム分

りゅうずを使う

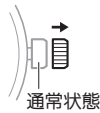
りゅうずは、ねじ込み式になっています (ねじ
ロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅう
ずを左回しにして、ねじ込みを緩めてくだ
さい。



●引く/戻す

りゅうずを操作するときは、イラストのよう
に 1 段または 2 段引いてから回してください。
無理に引っ張らないでください。

1 段引く

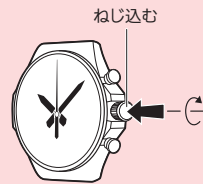


2 段引く



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの
損傷を防ぐため、操作が終わったら、
りゅうずを押しながら右に回して必ず
ねじ込みをしてください。



- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎ
ないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする

りゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回す
と、針を早送りまたは早戻しできます。針を早
送り中の場合は、再度りゅうずを同じ方向に
素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなり
ます。

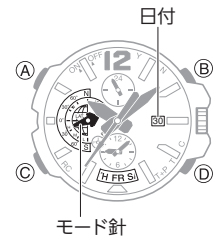
●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押
します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も
操作しないと、操作が効かなくなりま
す。その場合は、りゅうずをいったん戻
し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに
連動してモード針が回転します。

●日付について

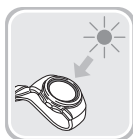
- 午前 12 時 (深夜 12 時) になると約 10 秒か
ら約 40 秒かけて日付が変わります。このと
き、日付の動きに合わせてモード針が回転
します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表
示されない場合があります。

充電する(ソーラー充電)

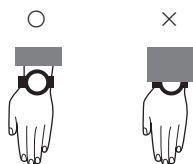
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

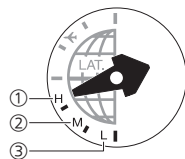


重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

●充電量を確認する

時計の充電量は、モード針の位置で確認できます。



- ① 良好
- ② 良好
- ③ 不足

●充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

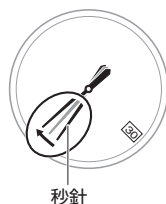
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

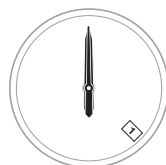
充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量		充電時間
多 ↓ 少	①	8分
	②	30分
	③	48分
	④	8時間

充電量の回復に必要な時間

光量	充電時間		
	充電レベル1	充電レベル2	
多 ↓ 少	①	2時間	27時間
	②	6時間	101時間
	③	10時間	164時間
	④	106時間	—

充電レベル1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル2:

時計が動き出してから満充電まで

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電(パワーセービング機能)

午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと秒針が停止し、レベル1の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、すべての針が停止し、レベル2の節電状態になります。

レベル1:

基本的な時計の機能は作動しています。

レベル2:

日付のみが作動しています。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- 節電状態になるのは、時刻モードのときです。

●節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

自動で時刻を合わせる

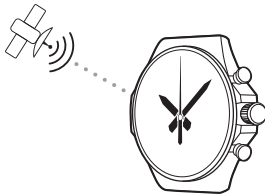
この時計は、電波を受信したり、スマートフォンと接続したりして日付や時刻を合わせることができます。

●初めて使うときは

ご購入直後は、GPS の位置情報を取得して時計のホーム都市を現在地に設定します。

🕒 手動で位置情報を取得する

GPS電波(位置情報)



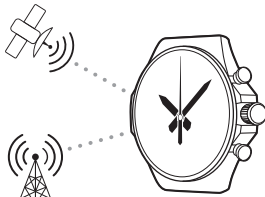
●普段の使いかた

この時計は、決まった時間に標準電波や GPS 電波(時刻情報)を自動で受信して時刻を合わせます。毎日正しい時刻に自動で合うので、時計の時刻のずれを気にする必要がありません。

🕒 自動で時刻情報を受信する

🕒 自動で標準電波を受信する

GPS電波(時刻情報)



標準電波

参考

- 自動で時刻が合わないときは、GPS 電波を手動で受信して時刻を合わせてください。

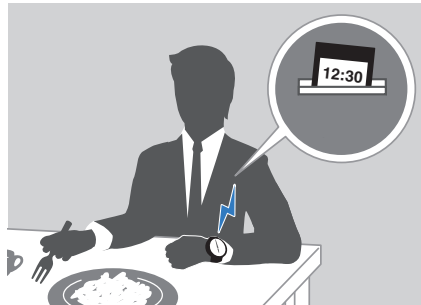
🕒 手動で時刻情報を受信する

🕒 手動で位置情報を取得する

スマートフォンを使って時刻を合わせる

時計とスマートフォンをペアリングすると、時計をスマートフォンの時刻に合わせることができます。

🕒 時計の時刻を自動で合わせる



●正しい時刻を示さないときは

電波を受信、またはスマートフォンと接続しても時計が正しい時刻を示さない場合は、針や日付を補正してください。

🕒 CASIO WATCHES で補正する場合

🕒 時計を操作して補正する場合

前回の時刻合わせ方法を確認する

1. 時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える



2. D ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を示します。何も操作をしないまま 9~10 秒経過すると現在時刻に戻ります。

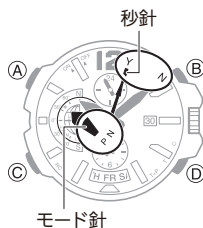
[Y(YES)] : 前回の時刻合わせが成功

[N(NO)] : 前回の時刻合わせが失敗

モード針が受信(取得)内容を示します。

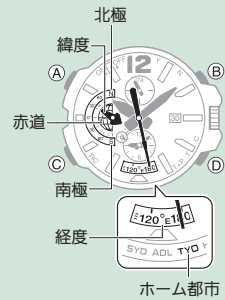
[P] : 時刻情報と位置情報(GPS 電波)、スマートフォンと接続

[N] : 時刻情報(GPS 電波)または標準電波



参考

- 受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、秒針が「N(NO)」を示します。
- 位置情報を取得またはスマートフォンと接続して時刻を合わせた場合は、何も操作しないまま 1~2 秒経過すると、取得したホーム都市と現在地の大まかな緯度と経度を確認できます。



病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできます(機内モード)。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

1. 時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える



2. D ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を 9~10 秒間示します。位置情報を取得した場合は、秒針が受信結果の後にホーム都市のタイムゾーンも示します。

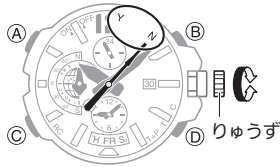


3. 手順 2 から 10 秒以内にりゅうずを 1 段引きます。


- 手順 2 の操作から 10 秒以上経過したためりゅうずを引く前に秒針が通常の秒運針に戻った場合は、手順 2 からやり直してください。

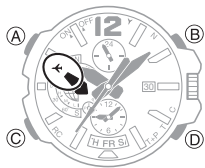
4. りゅうずを回して機内モードを設定します。

「N(NO)」:機内モードになります。
「Y(YES)」:機内モードを解除します。



5. りゅうずを戻します。

● 時計が機内モードのときは、モード針が  を示します。



時刻合わせ (GPS、標準電波)

GPS 電波または標準電波を受信すると、時計の時刻や日付、ホーム都市を合わせることができます。

- GPS 電波(位置情報):ホーム都市および時刻や日付が合います。
- GPS 電波(時刻情報):時刻や日付が合います。
- 標準電波:時刻や日付が合います。

重要

- GPS 電波の時刻情報や標準電波を受信する場合は、事前に GPS から位置情報を取得して、ホーム都市を設定しておいてください。
- スマートフォンとペアリングをした場合は、電波を自動で受信しません。ただし、1 日以上スマートフォンと接続しなかった場合は、電波を自動で受信します。
- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、機内モードに切り替えてください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

参考

- 標準電波は、受信できる地域が限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、GPS 電波で時刻や日付を合わせてください。
📍 標準電波の受信範囲
- 電波を受信しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付を補正してください。
📍 CASIO WATCHES で補正する場合
📍 時計を操作して補正する場合

GPS 電波で時刻を合わせる

受信に適した場所

ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で GPS 電波を受信できます。



参考

- 受信しにくいときは、文字板を上に向けて動かさないようにしてください。
- 自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の文字板にかからないようにご注意ください。
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
 - 上空が見えない場所
 - 屋内(窓の近くでは受信できることがあります)
 - 無線通信機器など磁気を発する機器の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
 - 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港など混雑した場所

手動で位置情報を取得する

ボタン操作で GPS から位置情報を取得して、ホーム都市、時刻や日付を現在地に合わせます。

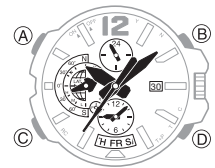
参考

- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

準備

時刻モードにします。

📍 モードを切り替える



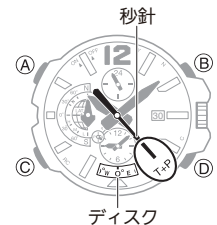
1. 受信に適した場所に移動して、文字板を真上または空の方向に向けます。

2. D ボタンを 1.5 秒以上押します。秒針が「T(TIME)」に移動したらすぐに指を離します。

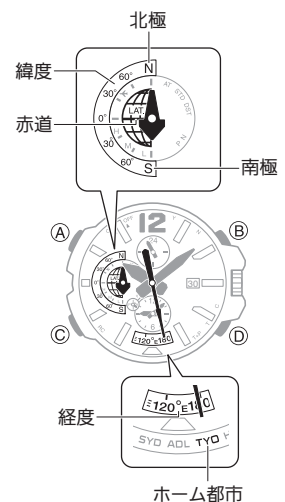
- 秒針が「Y(YES)」または「N(NO)」→「T(TIME)」の順で移動します。

3. D ボタンを押します。

秒針が「T+P」に移動して位置情報の取得が始まります。取得中はディスクの表示が 180°W~180°E 間を往復します。



- 位置情報の取得に成功すると、秒針が「Y(YES)」に移動した後、自動的に時刻と日付が合います。また、取得したホーム都市と現在地の大きな緯度が表示されます。



- 位置情報の取得に失敗すると、秒針が「N(NO)」に移動した後、受信前の状態で時刻と日付が表示されます。

参考

- 受信には、約 40 秒から約 90 秒かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。
- 都市の境界線近くでは適切な位置情報を取得できない場合があります。設定されたホーム都市が適切でないときは、時刻と日付が正しく表示されません。設定したい都市の中心に近い場所で改めて位置情報を取得してください。または、手動でホーム都市とサマータイムを設定した後、時刻情報を受信して時刻と日付を合わせてください。
- ホーム都市を設定する
- 手動で時刻情報を受信する

手動で時刻情報を受信する

ボタン操作で GPS 電波の時刻情報を受信します。受信に成功すると、設定したホーム都市に合わせて時刻と日付が表示されます。

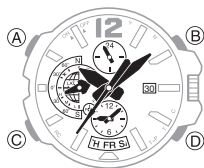
参考

- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

準備

時刻モードにします。

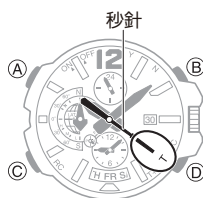
- モードを切り替える



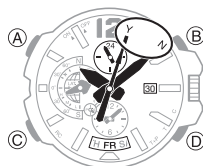
1. 受信に適した場所へ移動して、文字板を真上または空の方向に向けます。

2. D ボタンを 1.5 秒以上押します。秒針が「T(TIME)」に移動したらすぐに指を離します。

- 秒針が「Y(YES)」または「N(NO)」→「T(TIME)」の順で移動します。
- 時刻情報の受信が始まります。



- 受信に成功すると、秒針が「Y(YES)」に移動した後、自動的に時計の時刻と日付が合います。



- 受信に失敗すると、秒針が「N(NO)」に移動した後、受信前の状態で時刻と日付が表示されます。

参考

- 受信には、約 6 秒から約 60 秒かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

自動で時刻情報を受信する

以下の条件を満たすと GPS 電波から時刻情報を自動的に受信します。時刻情報は 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

- 時刻モードのとき
- 午前 6 時から午後 10 時の間
- 文字板に光(晴れた日の窓辺くらいの明るさ)が約 1 分から約 2 分連続して当たっている
- 夜間に標準電波の受信が成功していない

参考

- 時刻情報の受信には約 6 秒から約 60 秒かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

うるう秒の受信について

毎年 6 月 1 日以降と 12 月 1 日以降、GPS 電波ではうるう秒情報を受信します。

参考

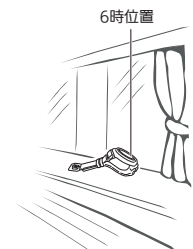
- うるう秒情報の受信が完了するには、最大で 13 分かかる場合があります。
- うるう秒情報の受信に成功しない場合、成功するまで受信動作を繰り返します。
- うるう秒情報の受信が完了すれば、次の 6 月 1 日または 12 月 1 日までうるう秒情報を受信しません。
- スマートフォンと接続して日時を合わせている場合は、時刻情報と一緒にうるう秒もスマートフォンから受信しています。その場合は、GPS 電波を受信時にうるう秒を受信しないときがあります。

標準電波で時刻を合わせる

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

●日本(JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

●中国(BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。

標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

●アメリカ(WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。

標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

●イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。

ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のメインフリンゲンに位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

準備

時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える



窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

- 標準電波を受信中は、秒針が [RC] を示します。
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合います。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差 ±15 秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1 秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、GPS 電波と標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - 機内モード、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードのとき
 - 節電レベル 2 のとき(GPS 電波は節電レベル 1 のときも受信できません)
 - りゅうずを引いているとき
 - タイマーで計測中
- 受信に成功すると、ホーム都市、サマータイムの設定に従って、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
 - 位置情報は取得できたが、本来の場所の位置情報ではない(たとえば、都市の境目で隣の都市の情報を取得してしまったなど)
- 中国は 2017 年 1 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
 - 🕒 : 時計を操作します。
 - 📱 : スマートフォンを操作します。

準備する

① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

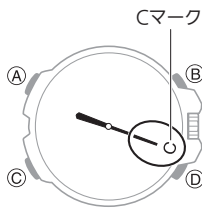
③ ペアリングする

時計とスマートフォンを一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 「マイウォッチ」タブの「+」をタップします。
4. 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。
5. 秒針が[C]の位置を示すまで、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、秒針が[C]の位置を示します。

- ペアリングに失敗すると、秒針が「N」に移動した後、通常の動きに戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。



参考

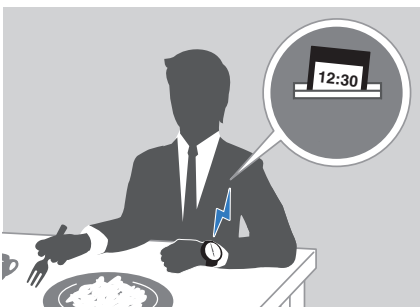
- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻に、時計をネットワーク上の正確な時刻に自動で合わせます。

● 使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるの、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付を補正してください。
🔗 [針や日付の位置を補正する](#)
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 6 時半頃、午前 12 時半頃、午後 6 時半頃、午後 12 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

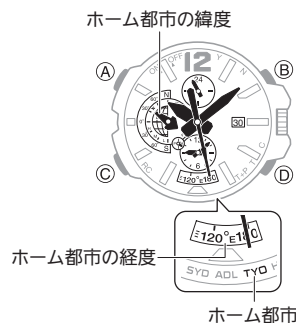
● すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻がスマートフォンの時刻に合います。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. D ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。秒針が[C]に移動したらすぐに指を離します。

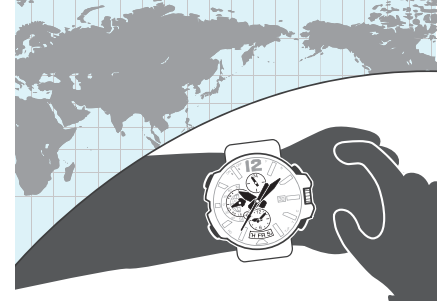
時計とスマートフォンが接続すると、秒針が[Y(YES)]に移動した後、時計の時刻が合います。

- 時刻合わせが終わると、ホーム都市の情報が表示されます。その後、接続が終了します。
- 時刻合わせが失敗すると、秒針は[N(NO)]を示します。



ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。



参考

- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

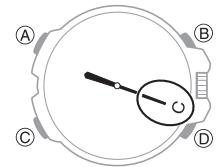
● ワールドタイム都市を設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。

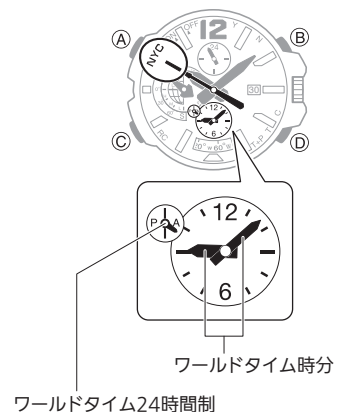
秒針が[C]に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。

- 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



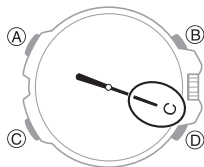
3. 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

- ワールドタイムの午前、午後は小時計(24 時間制)の位置で確認できます。



●サマータイムを設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
 - 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



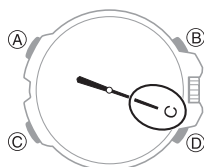
3. 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。

参考

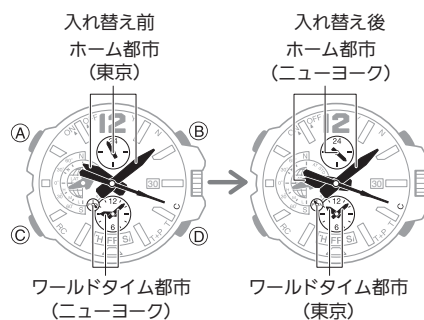
- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、サマータイム期間一覧または CASIO WATCHES で確認できます。

●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
 - 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。
たとえば、ホーム都市が東京、ワールドタイム都市がニューヨークの場合、時刻を入れ替えると以下になります。
 - 時刻が入れ替わった後数秒間、秒針がワールドタイム都市のタイムゾーンを示します。

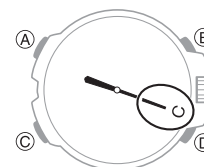


参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせを行いません。

アラームを設定する

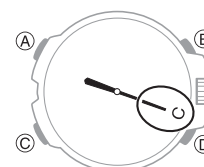
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
 - 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



3. 画面に従って操作して、アラームの時刻を設定します。
 - オフからオンに変更します。
 - アラームの時と分を設定します。

タイマーを設定する



1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
 - 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。

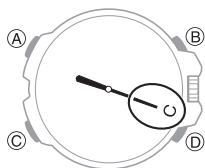



3. 画面に従って操作して、タイマーの時間を設定します。
 - タイマーの時と分を設定します。

針や日付の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針や日付の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針や日付の位置を補正できます。



1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
● 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。

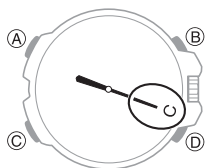



3.  画面に従って操作して、針や日付の位置を補正します。

時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間などは、CASIO WATCHES で設定できます。

1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
● 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。






3.  設定したい内容を選び、画面に従って操作します。



訪れた場所を記録する (FLIGHT LOG)

旅行などで訪れた場所の位置や訪れた日時を、スマートフォンに記録できます。記録した位置情報は、CASIO WATCHES の地図で確認できます。

● 現在位置を記録する

1.  時刻モードにします。
 モードを切り替える
2.  記録したい場所で、秒針が [C] の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。
ボタンを押した場所の緯度、経度、日時がスマートフォンに記録されます。



● 訪れた場所を地図で確認する

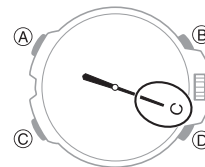
1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。


参考

- 記録した位置情報は、CASIO WATCHES を操作して消去できます。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える



1.  ホーム画面で、「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
● 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。

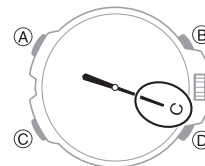


3.  画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

時計の充電量を確認する

CASIO WATCHES で時計の充電量を確認できます。

1.  ホーム画面で、「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が [C] に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
● 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



3.  CASIO WATCHES で充電量の表示を確認します。

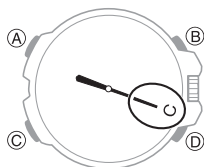
接続

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「③ ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2. 秒針が[C]を示していないときに、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
秒針が[C]に移動して、時計とスマートフォンが接続されます。
• 接続に失敗すると、秒針が「N」を示します。



重要

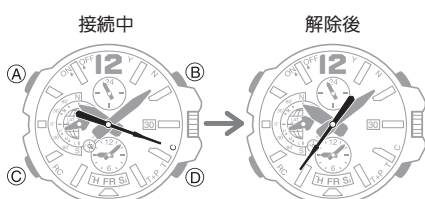
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計の C ボタンを約 2.5 秒間押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3分、5分、10分から選ぶことができます。

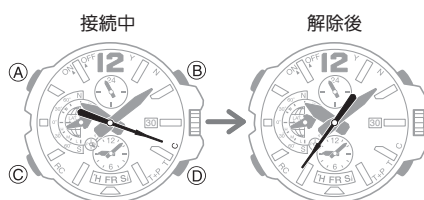
時計とスマートフォンの接続を解除する

いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



ペアリングを解除する

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。

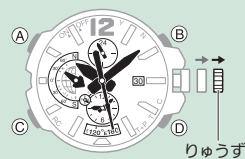


2. ホーム画面で、「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

参考

- 一度ペアリングを解除した後、再度スマートフォンとペアリングできない場合は、以下の手順で時計のペアリング情報を削除してから、ペアリングをやり直してください。

- ① りゅうずを 2 段引きます。



- ② D ボタンを約 10 秒間押し続けます。

ペアリング情報が削除されると、秒針が[C]を示します。

- ③ りゅうずを戻します。

スマートフォンを買い替えたとき

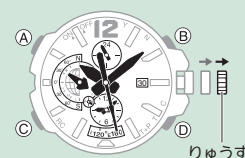
今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

- ③ ペアリングする

参考

- 時計と新しいスマートフォンをペアリングしようとしたときに今まで接続していたスマートフォンが近くで起動していると、今まで接続していたスマートフォンと時計が接続してしまい、新しいスマートフォンとペアリングできません。その場合は、以下の手順で時計からペアリング情報を削除してください。さらに、接続しないスマートフォンから時計の登録を解除してください。

- ① りゅうずを 2 段引きます。



- ② D ボタンを約 10 秒間押し続けます。

ペアリング情報が削除されると、秒針が[C]を示します。

- ③ りゅうずを戻します。

時刻合わせ(手動)

GPS 電波や標準電波を受信できないとき、またはスマートフォンと通信できないときは、次の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

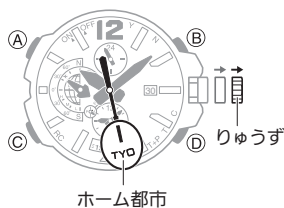
参考

- 各都市のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は「AT (AUTO)」です。多くの場合、「AT (AUTO)」であれば、設定を変更する必要はありません。
- 次の場合、GPS から位置情報を取得すると、自動的に「AT (AUTO)」に設定されます。
 - ホーム都市が受信前と異なる
 - 受信前と同じホーム都市だが、サマータイムの規定(開始日時、終了日時)が異なる地域の位置情報を取得した

1. りゅうずを2段引きます。

現在設定しているホーム都市に秒針が移動します。

- 現在地の大まかな緯度と経度も確認できます。
- A ボタンを押すと、モード針で現在設定しているホーム都市の位置情報の受信状況を確認できます。
「P」:あり
「N」:なし

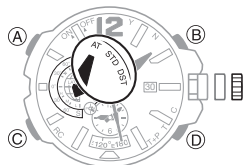


2. りゅうずを回して、ホーム都市を変更します。

- ホーム都市については、「都市一覧」をご覧ください。

3. B ボタンを押します。

モード針で、現在のサマータイムの設定を確認できます。

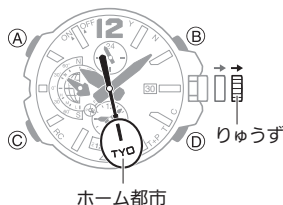


- 「AT (AUTO)」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「STD」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「DST」
常にサマータイムで表示します。
4. サマータイムを設定する場合は、B ボタンを約 1 秒間押し続けます。
B ボタンを約 1 秒間押し続けるたびに以下の順で設定が切り替わります。
「AT (AUTO)」→「STD」→「DST」
5. りゅうずを戻します。

時刻を 15 分単位で変更する

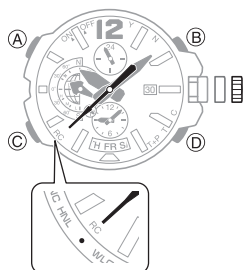
1. りゅうずを2段引きます。

現在のホーム都市に秒針が移動します。



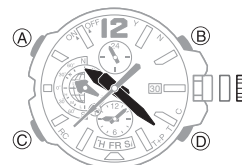
2. C ボタンを約 1 秒間押し続けます。

秒針が ● を示します。



3. りゅうずを回して、時刻と日付を合わせます。

時刻が 15 分単位で進みます。



4. りゅうずを戻します。

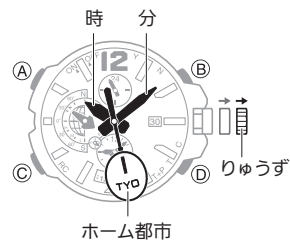
参考

- この操作で時刻を変更した場合、ホーム都市の位置情報が時計から削除されます。

時刻や日付を設定する

1. りゅうずを2段引きます。

現在のホーム都市に秒針が移動します。



2. C ボタンを約 10 秒間押し続けます。

秒針が 12 時位置に移動し、「分」を設定できる状態になります。

3. りゅうずを回して「分」を合わせます。

4. C ボタンを押します。

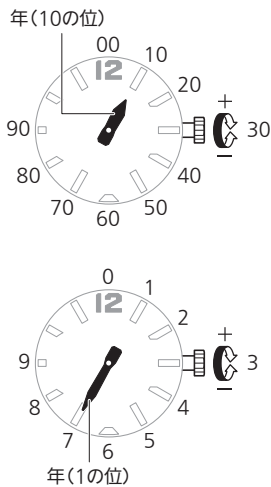
時針が小さく動き、「時」を設定できる状態になります。

5. りゅうずを回して「時」を合わせます。

6. C ボタンを押します。

「年」を設定できる状態になります。

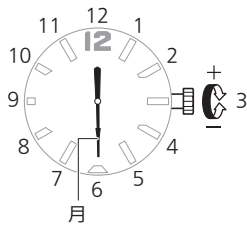
- 年は西暦 (20xx) で合わせます。



7. りゅうずを回して時針を「年(10の位)」、分針を「年(1の位)」に合わせます。

8. C ボタンを押します。

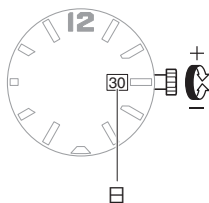
「月」を設定できる状態になります。



9. りゅうずを回して「月」を合わせます。

10. C ボタンを押します。

モード針が小さく動き、「日」を設定できる状態になります。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

11. りゅうずを回して「日」を合わせます。

12. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

参考

- 日付と時刻を合わせても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付を補正してください。

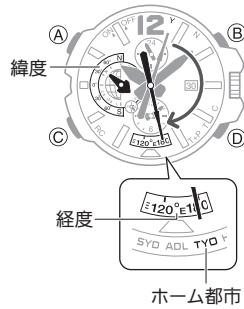
🔗 [CASIO WATCHES で補正する場合](#)

🔗 [時計を操作して補正する場合](#)

ホーム都市を確認する

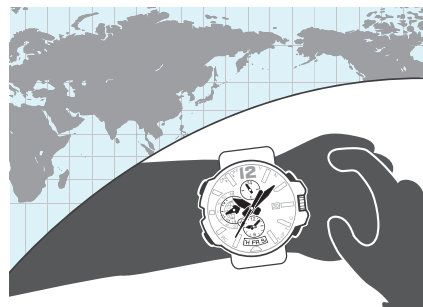
D ボタンを押すと、秒針が前回の受信結果を表示した後、秒針が現在設定しているホーム都市のタイムゾーンに移動して、ディスクが経度、モード針が緯度を示します。

- 何も操作をしないまま 9~10 秒経過すると現在時刻に戻ります。



ワールドタイム

世界 28 都市と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



準備

時刻モードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)



ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

参考

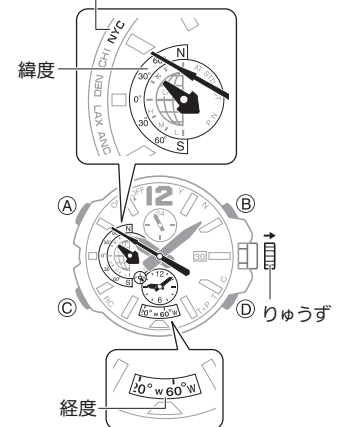
- 各都市のサマータイムの初期設定 (工場出荷時の状態) は [AT (AUTO)] です。多くの場合、[AT (AUTO)] であれば、設定を変更する必要はありません。

1. りゅうずを 1 段引きます。

秒針が現在設定しているワールドタイム都市に移動します。

ワールドタイム都市の大きな緯度と経度も確認できます。

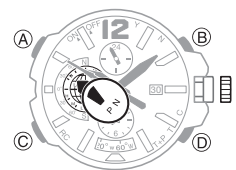
ワールドタイム都市



- A ボタンを押すと、モード針で現在設定しているワールドタイムの位置情報の取得状況を確認できます。

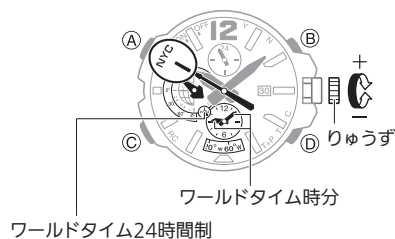
「P」:あり

「N」:なし

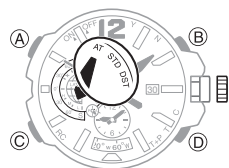


2. りゅうずを回してワールドタイム都市を変更します。

選んだワールドタイム都市の時刻が小时針と小分針で表示されます。



● B ボタンを押すと、モード針で現在のサマータイムの設定を確認できます。



- 「AT (AUTO)」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- 「STD」
常にスタンダードタイムで表示します。
- 「DST」
常にサマータイムで表示します。

3. サマータイムの設定を変更する場合は、B ボタンを約 1 秒間押し続けます。

● B ボタンを約 1 秒間押し続けるたびに、サマータイムの設定が切り替わります。

4. りゅうずを戻します。

参考

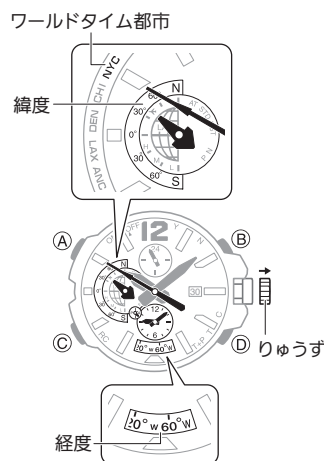
- 都市で「UTC」を選んだときは、「STD」と「DST」の切り替えはできません。

ワールドタイムを 15 分単位で変更する

設定したい都市が本機にない場合は、以下の手順でワールドタイムを設定します。

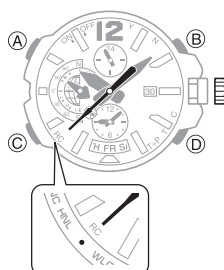
1. りゅうずを 1 段引きます。

秒針が現在設定しているワールドタイムのタイムゾーンに移動して、ディスクが経度、モード針が緯度を示します。



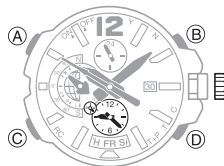
2. C ボタンを約 1 秒間押し続けます。

秒針が ● を示します。



3. りゅうずを回して、時刻と日付を合わせます。

ワールドタイムが 15 分単位で進みます。



4. りゅうずを戻します。

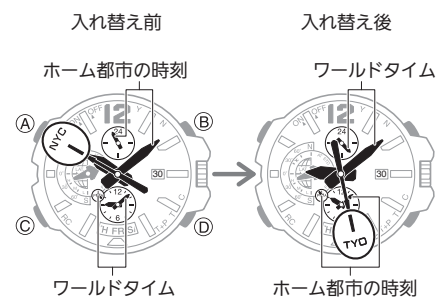
参考

- この操作でワールドタイムを変更した場合、ワールドタイム都市の位置情報が時計から削除されます。
- ワールドタイム都市を UTC に設定していると、この操作はできません。

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

B ボタンを約 3 秒間押し続けると、ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。

● B ボタンを押すとライトが光ります。そのまま約 3 秒間押し続けてください。



● 操作の結果、日付が変更されるときは、モード針が繰り返し回転します。

🕒 [針と日付の動き方について](#)

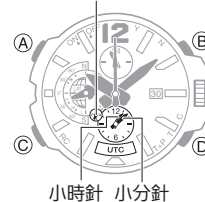
参考

- 海外に渡航するとき、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は「[海外に渡航するとき](#)」をご覧ください。

ワールドタイム都市を UTC (協定世界時) に設定する

A ボタンを約 1 秒間押し続けると、ワールドタイムが UTC (協定世界時) に設定され、小时分針と小时針 (24 時間制) が UTC (協定世界時) を示します。

小时針 (24 時間制)



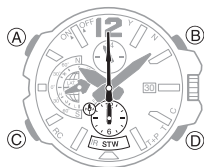
ストップウォッチ

1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測できます。

準備

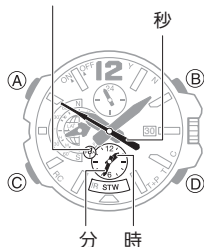
ストップウォッチモードにします。

🕒 [モードを切り替える](#)



計測する

時(24時間制)



1. 以下の操作で計測します。

- 🕒 スタート
- ↓
- 🕒 ストップ
- ↓
- 🕒 再スタート
- ↓
- 🕒 ストップ

2. D ボタンを押して、計測をリセットします。

3. C ボタンを 3 回押して、時刻モードに戻ります。

タイマー

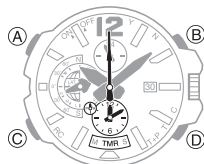
設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🕒 [節電\(パワーセービング機能\)](#)

準備

タイマーモードにします。

🕒 [モードを切り替える](#)



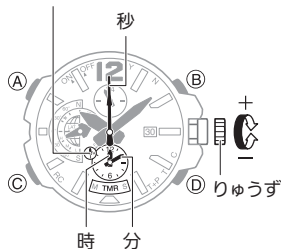
時間を設定する

1. りゅうずを 1 段引きます。

2. りゅうずを回して時間を設定します。

- タイマーは、1 分単位で 24 時間まで設定できます。

時(24時間制)



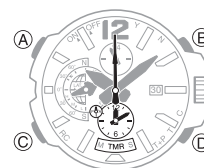
3. りゅうずを戻します。

参考

- 小時計と小分針を 12 時位置に合わせると、24 時間のカウントダウンタイマーを設定できます。

タイマーを使う

1. B ボタンを押して、タイマーを開始します。



残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

- カウントダウン中に B ボタンを押すと、タイマーを一時停止できます。一時停止中に D ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。

2. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

3. C ボタンを 2 回押して、時刻モードに戻ります。

アラーム

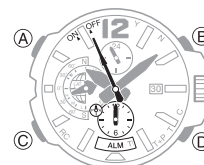
指定した時刻に音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🕒 [節電\(パワーセービング機能\)](#)

準備

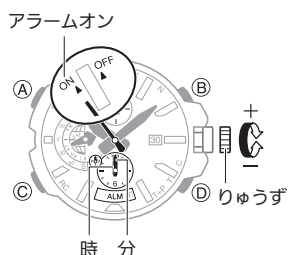
アラームモードにします。

🕒 [モードを切り替える](#)



アラームをセットする

1. りゅうずを1段引きます。
アラームがオンになります。
2. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。



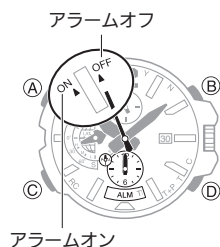
3. りゅうずを戻します。
4. C ボタンを1回押して、時刻モードに戻ります。

参考

- セットした時刻になると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。

アラームのオン/オフを切り替える

1. D ボタンを押すと、アラームのオンとオフを切り替えることができます。



2. C ボタンを1回押して、時刻モードに戻ります。

アラームを止める

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

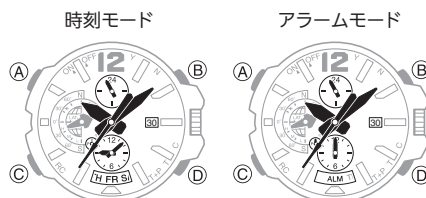
ライト

暗い所で時計の表示を見るときに、LED ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。ライトは徐々に明るくなり、約2秒間点灯した後、徐々に暗くなります。

準備

時刻モードまたはアラームモードにします。

モードを切り替える



ライトを点灯する

B ボタンを押すと、ライトが針を照らします。



- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消します。
- 針が早送りされているとき、ライトは点灯しません。

針や日付の補正

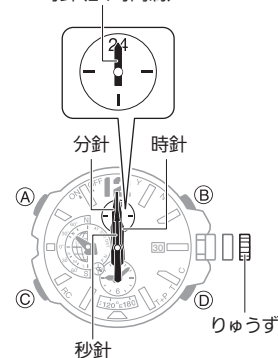
強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

- 時針、分針、秒針、時計(24時間制)は、自動で補正されます。

針や日付の位置を補正する

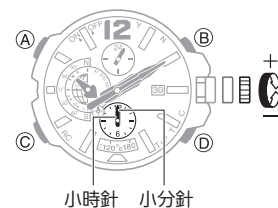
1. りゅうずを2段引きます。
2. D ボタンを、秒針が12時位置を示すまで、約5秒間押し続けます。
時針、分針、秒針、時計(24時間制)の自動補正が始まります。
• 補正が完了すると、針の位置は以下のようになります。

時計(24時間制)



3. C ボタンを押します。

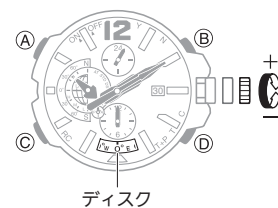
小時計と小分針が12時位置で停止することを確認します。



4. 小時計と小分針が12時位置になっていないときは、りゅうずを回して小時計と小分針を12時位置に合わせます。

5. C ボタンを押します。

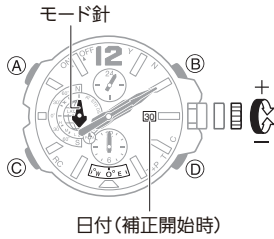
「0°」がディスクの中心に表示されていることを確認します。



6. 「0°」がディスクの中心に表示されていない場合は、りゅうずを回して「0°」を中心に合わせます。

7. C ボタンを押します。

モード針が 12 時位置で停止し、日付が正しく表示されることを確認します。

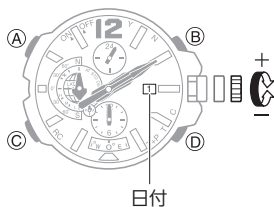


8. モード針や日付の位置が合っていないときは、りゅうずを回してモード針を 12 時位置、日付を日付窓の中央部に合わせます。

- りゅうずを回しても、モード針と日付を動かせる範囲には限りがあります。モード針は最大で左右にそれぞれ 180 度回転します。日付の動きはわずかです。
- モード針と日付の位置合わせができたときは手順 11 に進んでください。位置合わせができないときは手順 9 に進んでください。

9. C ボタンを押します。

日付が「1」で停止することを確認します。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。モード針は 5 分くらい回転を続けることがあります。

針と日付の動き方について

10. 日付が「1」になっていないときは、りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。

- りゅうずを回すとモード針も連動します。モード針は 12 時位置になるように合わせます。

11. りゅうずを戻します。

参考

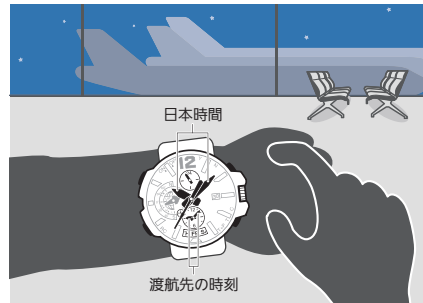
- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。りゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

●搭乗前

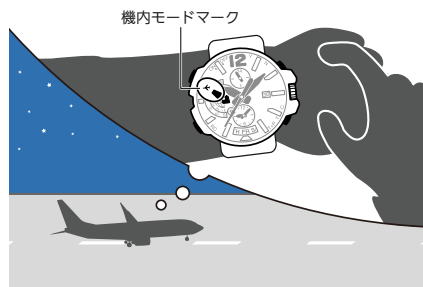
渡航先の時刻をワールドタイムに設定します。



🔗ワールドタイム都市を設定する

●離陸前

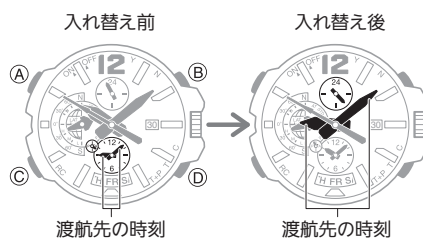
アナウンスに従って、機内モードに設定します。



🔗病院内、飛行機内で使うとき

●到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



🔗ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

2. 機内モードを解除します。

🔗病院内、飛行機内で使うとき

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市コード	都市名	秒針位置	UTCからの時差
UTC	協定世界時	0 秒	0
LON	ロンドン	2 秒	0
PAR	パリ	4 秒	+ 1
ATH	アテネ	6 秒	+ 2
JED	ジェッダ	8 秒	+ 3
THR	テヘラン	10 秒	+ 3.5
DXB	ドバイ	12 秒	+ 4
KBL	カブール	14 秒	+ 4.5
KHI	カラチ	16 秒	+ 5
DEL	デリー	18 秒	+ 5.5
DAC	ダッカ	20 秒	+ 6
RGN	ヤンゴン	22 秒	+ 6.5
BKK	バンコク	24 秒	+ 7
HKG	香港	26 秒	+ 8
TYO	東京	28 秒	+ 9
ADL	アデレード	30 秒	+ 9.5
SYD	シドニー	32 秒	+ 10
NOU	ヌーメア	34 秒	+ 11
WLG	ウェリントン	36 秒	+ 12
HNL	ホノルル	40 秒	-10
ANC	アンカレジ	42 秒	-9
LAX	ロサンゼルス	44 秒	-8
DEN	デンバー	46 秒	-7
CHI	シカゴ	48 秒	-6
NYC	ニューヨーク	50 秒	-5
YHZ	ハリファックス	52 秒	-4
RIO	リオデジャネイロ	54 秒	-3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ	56 秒	-2
RAI	プライア	58 秒	-1

- この表は 2017 年 1 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。その場合、スマートフォンと接続すると、時計のタイムゾーン情報が最新の状態に更新されます。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を[AT (AUTO)]にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なることがあります。その場合は、スマートフォンと接続すると、ホーム都市とワールドタイム都市の新しいサマータイムの情報が時計に送られます。スマートフォンと接続しない場合は、手動で「STD」または「DST」に切り替えてください。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
ロンドン	3月最終日曜 1時	10月最終日曜 2時
パリ	3月最終日曜 2時	10月最終日曜 3時
アテネ	3月最終日曜 3時	10月最終日曜 4時
テヘラン	3月 22日または 3月 21日の 0時	9月 22日または 9月 21日の 0時
シドニー、 アデレード	10月第 1 日曜 2時	4月第 1 日曜 3時
ウェリントン	9月最終日曜 2時	4月第 1 日曜 3時
アンカレジ	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
ロサンゼルス	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
デンバー	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
シカゴ	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
ニューヨーク	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
ハリファックス	3月第 2 日曜 2時	11月第 1 日曜 2時
リオデジャネイロ	10月第 3 日曜 0時	2月第 3 日曜 0時 または 2月第 4 日曜 0時

- この表は 2017 年 1 月現在のものです。

地図データベースについて

この時計は、東京カートグラフィック株式会社の地図データベースを使用しています。

対応機種

対応機種はカシオホームページでご確認ください。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度:

電波受信、またはスマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差 ±15 秒

基本機能:

時・分・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

電波受信機能:

GPS 電波 自動受信・手動受信
標準電波 自動受信
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77 に対応)
受信電波 コールサイン:
JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、
WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、DCF77
(77.5kHz)
受信結果確認機能
スタンダードタイム/サマータイムの自動
/手動切り替え

モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
針位置補正機能
通信仕様
Bluetooth®
周波数帯域 2400MHz~2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ~2m(環境により変化)

ワールドタイム機能:

世界 39 タイムゾーン*と協定世界時(UTC)の時刻を表示、サマータイム自動設定機能
*スマートフォンとの接続で更新される場合があります。

ストップウォッチ機能:

計測単位 1 秒
計測範囲 23 時間 59 分 59 秒(24 時間計)
計測機能 経過時間

タイマー機能:

セット単位 1 分
計測範囲 24 時間
計測単位 1 秒

アラーム機能:

セット単位 時・分

その他:

LED ライト、針位置自動補正機能、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能、機内モード(通信を無効にする)

使用電池:

二次電池 CTL1616
公称電圧 2.3V
持続時間 約 6 か月
使用条件:
光に当てないで、以下を使用
GPS 時刻受信(約 10 秒):1 回/2 日
GPS 位置受信(約 45 秒):1 回/月
ライト:1 回/日
アラーム:1 回/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

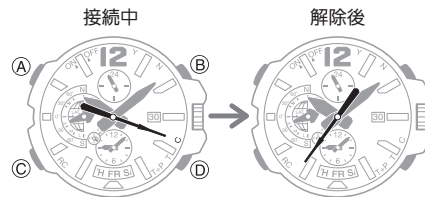
- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなる場合があります。
- 本機は、他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器など）の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

● 本機からの電波を止める必要があるときは秒針が[C]を指しているときは、本機は電波を発信しています。

また、秒針が[C]を指していなくても、1日4回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める
いずれかのボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



- 自動時刻合わせを無効にする
CASIO WATCHES で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

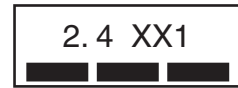
無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）

- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ先」（「取扱説明書」を参照）にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY、GALAXY Note、GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

電波受信(GPS 電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ **☑ 充電する(ソーラー充電)**

時計は時刻モードになっていますか？

機内モードやその他のモードのときは電波を受信できません。時刻モードに戻してください。

↓ **☑ モードを切り替える**

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、GPS 電波を受信できません。

- 節電状態のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中

Q2 受信中の状態から変化がない(秒針が「T+P」や「T(TIME)」を示したままになっている)

うるう秒を受信している可能性があります。
☑ **うるう秒の受信について**

Q3 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

↓ **☑ 受信に適した場所**

文字板を真上や空の方向に向けていますか？

受信中はできるだけ時計を動かさないでください。
自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の文字板にかからないようご注意ください。

受信中にアラームが鳴っていませんか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。
☑ **アラームのオン/オフを切り替える**

Q4 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市を正しく設定してください。
☑ **手動で位置情報を取得する**
☑ **ホーム都市を設定する**

針や日付の位置は合っていますか？

針や日付の位置を補正してください。
↓ **☑ 針や日付の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

電波受信(標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ **☑ 充電する(ソーラー充電)**

時計は時刻モードになっていますか？

機内モードやその他のモードのときは電波を受信できません。時刻モードに戻してください。

↓ **☑ モードを切り替える**

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市を正しく設定してください。

↓ **☑ 手動で位置情報を取得する**
↓ **☑ ホーム都市を設定する**

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル 2 のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。
↓ **☑ 受信に適した場所**

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

受信中はアラームが鳴らない設定ですか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。
↓ **☑ アラームのオン/オフを切り替える**

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。
独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

針や日付の位置は合っていますか？

針や日付の位置を補正してください。
↓ **☑ 針や日付の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。
☑ **時刻合わせ(手動)**

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続（ペアリング）できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

🔗 ① [アプリケーションをインストールする](#)

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth 共有」→「CASIO WATCHES」→オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で CASIO WATCHES のアイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除し、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



Q3 時計の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

時計の機内モードを解除してから、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



Q4 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



Q5 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。

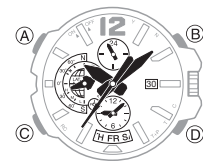


どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、時計の MODE ボタン(C)を約 2.5 秒間押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

🔗 [ペアリングを解除する](#)

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、再度ペアリングをしてください。

🔗 [「ペアリングを解除する」の参考](#)

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

☞ **③ ペアリングする**

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

Q1 スマートフォンの時刻とどのタイミングで合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

時計が機内モードになっていませんか？

時計が機内モードになっていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計の機内モードを解除してください。

☞ **病院内、飛行機内で使うとき**

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、スマートフォンの時刻が正しくない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ **充電する (ソーラー充電)**

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

☞ **アラームのオン/オフを切り替える**

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

ディスクの表示で現在のモードを確認できます。モードは C ボタンで切り替えることができます。

☞ **モードを切り替える**



Q2 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ **充電する (ソーラー充電)**

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ **充電する (ソーラー充電)**

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
☞ **節電 (パワーセービング機能)**
- GPS 電波または標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
☞ **時刻合わせ (GPS、標準電波)**
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
☞ **時計の時刻を自動で合わせる**

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が 9 時間、3 時間 15 分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ **手動で位置情報を取得する**
☞ **ホーム都市を設定する**

Q7 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ **手動で位置情報を取得する**
☞ **ホーム都市を設定する**

Q8 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

☞ **針や日付の補正**

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま 2 分以上 (針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間) 何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

☞ **りゅうずを使う**